

3. 小川家文書の補修方法と経過 I

有限会社 東京修復保存センター

CONTENTS

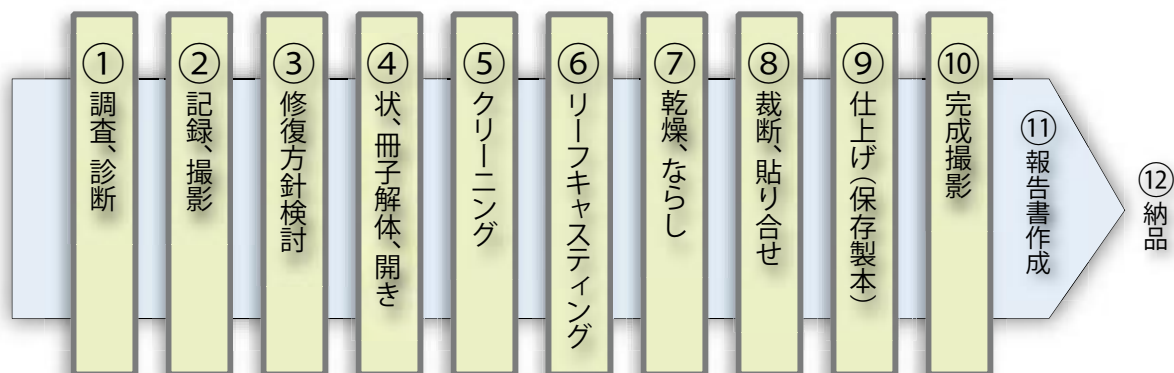
- 3-1 「小平市中央図書館所蔵資料」の修復履歴
- 3-2 修復作業工程
- 3-3 修復作業のグループ化とシステム化
- 3-4 仕上がり検討－質問確認事項と図書館担当者の現場視察
- 3-5 リーフキャスト法による修復技術と TRCC
- 3-6 インク焼け資料に対する技術的な対応
- 3-7 小川家文書の劣化損傷

3-1 「小平市中央図書館所蔵資料」の修復履歴

修復年度	対象資料	点数	対象資料 ※備考	特徴的な事項
1990 年	市役所引継文書	2 点	「社寺名簿」(168 丁 F-1)、「武蔵国多摩郡小川村新田検地帳」(169 丁 A-2)	固着した資料、欠損の多い資料
1991 年	當麻家文書	210 点	M-1-5 ～ M-3-79	
	市役所引継文書	2 点	F-2、小学校職員名簿	
1992 年	小川家文書	21 点	A-1-1 ～ A-2-19	虫損の甚だしいもの
1993 年	小川家文書	23 点	A-6-39 ～ C-2-56、L-2-34 ※一部記録用紙に封筒コピー使用	
1994 年	小川家文書	39 点	C-2-61 ～ C-2-225	
1995 年	當麻家文書	177 点	A-1-5 ～ I-3-74	
1996 年	當麻家文書	51 点	K-3-16 ～ V-3-13	一紙もの、状が入る。一紙ものに対する元の裏打ちあり
	小川家文書	196 点	A-2-7 ～ C-7-10	
1997 年	小川家文書	93 点	C-7-14 ～ C-7-259	
1998 年	小川家文書	81 点	C-9-5 ～ D-5-407、Z-1 ※この年以降、修理報告を提出	包みの付属した状もの、崩れの大きな横帳
1999 年	小川家文書	25 点	D-6-1 ～ D-9-21 ※この年以降、提出写真を提出	冊子が多く傷みも甚だしい
2000 年	小川家文書	107 点	E-1-23 ～ K-9-19	一紙もの、冊子ともに状態の甚だしいもの
2001 年	小川家文書	166 点	L-2-6 ～ Q-9-2 ※この年以降記録用紙を変更	かなり崩れて傷んだもの、かなりフケて、欠損した一紙ものあり
2002 年	小川家文書	97 点	R-1-5 ～ T-2-8	洋紙あり、酸性劣化あり。絵図あり。インク焼けした資料
2006 年	小川家文書	110 点	C-4-9 ～ P-1-24	かなり崩れて傷んだものあり

東京修復保存センターによる修復資料点数 1400 点
(小川家文書 958 点 當麻家文書 438 点 市役所引継文書 4 点)

3-2 修復作業工程



主な修復作業内容

②記録、撮影

全点に関して、35 mmポジフィルムにより資料の現状の写真撮影を行ないます。1998 年以降は専用の撮影台を用い撮影をしています。提出用写真の撮影は 1999 年度修復以降行なっています。修復前・後の撮影を行ないプリント写真を提出していましたが、2006 年度は担当者の了解の上、デジタル画像を印刷し提出しました。

修復前の資料の状態および劣化損傷の状態を記録するため、記録調書を作成します。綴じや裏打ちの有無、シミや虫損など劣化損傷の度合いを記録し、酸性劣化の症状が見られる場合にはpH測定を行ないます。インク焼けの兆候が見られた時には、試験紙を用いて症状の有無を調査します。

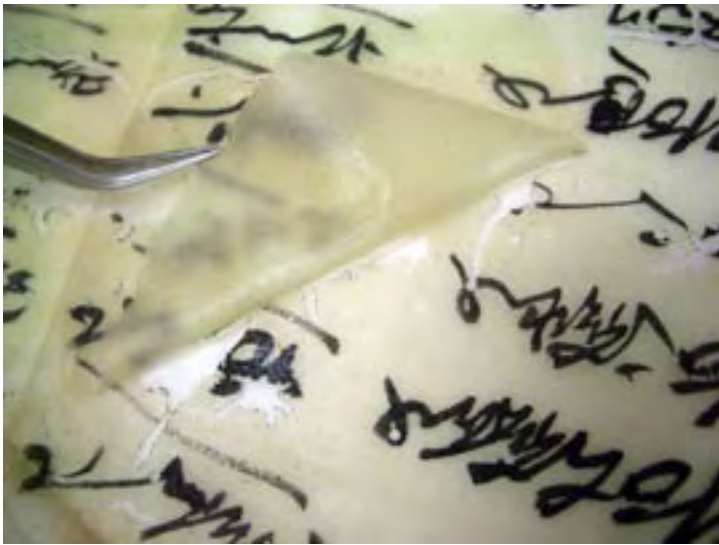


④状、冊子解体、開き

冊子は解体し、鉛筆を用いてノンブルを付与し、必要に応じてドライクリーニングを行ないます。

状物は和紙ノンブルを文書の右下に貼り、長いものは継ぎを外します。また、本紙のシワがひどいものはフラットニングを行ないます。リーフキャストイング前の開き作業では、一枚一枚開いて、虫損等の穴の周りに付着している糞を除去し、整形しています。虫損が甚だしい状態の本紙の場合、固着していたり、外れている破片などは、形状や前後の関係などから元の位置を確定して貼り戻しを行ったり、破片状になってヒラヒラしている部分には、和紙と生麩糊を用いて固定する作業をしています。





開き作業 破片の固定作業



特に脆弱化した茶変色部分は、一枚一枚開くだけでも文字部分が粉々になりそうなくらい紙力が低下したものが多いので、変色した部分の裏から極薄の修復用和紙(5.0g/㎡)をメチルセルローズと生麩糊の混合糊で貼り付けて補強して、本紙から和紙の繊維を一本一本出して喰い裂きにして、リーフキャストिंगの繊維となじむように整えています。



開き作業 極薄の和紙による補強作業



⑤クリーニング（洗浄、裏打ち除去）

シミのひどいものは温水洗浄を行ないます。鼠の尿および煤汚れによる茶褐色のシミ跡や汚れは、完全には除去できませんが、今後それらが他の文書を汚損しないように温水洗浄し、必要最小限の汚れを落とします。

裏打ちの除去は、裏打ちの紙と糊の違いで非常に硬く貼り付けられている文書もあり、それらは水で濡らして湿式で除去します。

⑥リーフキャスティング (Leaf-Casting)

修復に適した楮繊維を主原料とした国産の和紙パルプを用いてリーフキャスティングを行ないます。フケ箇所など脆弱化した箇所には、必要があれば極薄の修復用和紙（5.0g/㎡）を裏から部分的に補強を行ないます。

詳細は 3-5 リーフキャスティング法による修復技術と TRCC を参照下さい。



①本紙の表を下にして LC 台に置く



②繊維が欠損部に漉き込まれた状態



③プレス後、ウェットシート状になる



④乾燥後、一枚一枚破片のズレ等を点検する



リーフキャスティング前 D-3-14 (No.06-23)



リーフキャスティング後 D-3-14 (No.06-23)

⑧裁断、貼り合せ

リーフキャスティングの余白を残して一枚一枚裁断します。冊子も状物も余白は3ミリから5ミリつけてカットします。状物は元の状態に貼り合わせ、記録を参考に、元の折をつけ伸ばして保存封筒に収めます。

⑨仕上げ（保存製本）

冊子はオリジナルの紙縫りの強度に耐久性がなくなっていたり、オリジナルの紙縫りがないものには、いずれも新調した紙縫りを製本に使用します。（元の紙縫りは返却）その際、綴じ穴、位置など原形を尊重しますが、綴じ近くに文字があり、開くのにきついものは記録の上、リーフキャスティングの余白を利用して開き易いように綴じた仕上げにします。製本後、インデックスや貼り紙の貼り戻しを行ないます。



状物の貼り合せ



インデックスの貼り戻し



再製本



保存箱に納めて（C-8-3 No.06-15）

⑩完成撮影

修復を終えた資料は、35 mmポジフィルムにより修復後の写真撮影を行ないます。

⑪報告書作成

修復対象資料の劣化損傷所見、修復作業の特記事項、作業内容一覧などの情報を報告にまとめて、納品時に図書館に納めます。

⑫納品

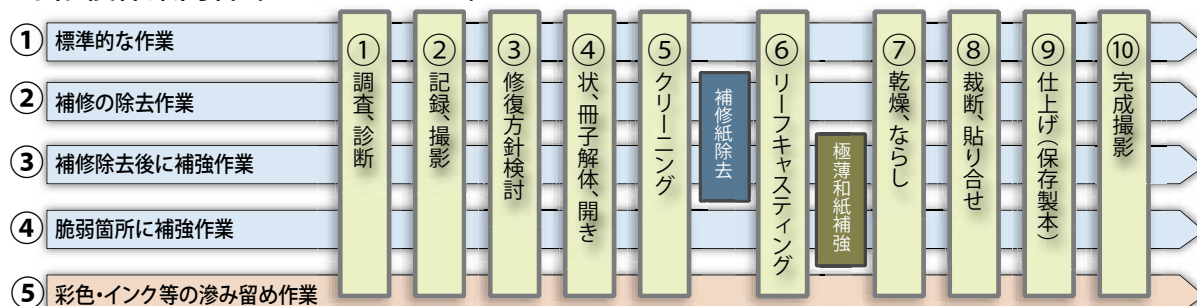
3-3 修復作業のグループ化とシステム化

修復作業内容のグループ化について

修復作業内容は資料の現状によって修復作業の流れが変わります。小川家文書の修復については以下の5つのグループによって大別されます。調査、診断の段階で各資料をグループに分けることから作業が始まります。5番については処置を必要な段階で行ないます。脱酸性化処理も5番のグループに入ります。

- 1 番：標準的な損傷の文書の修復作業グループ
- 2 番：古い補修紙や裏打ち紙の除去作業の工程が加わる修復作業グループ
- 3 番：補修紙や裏打ち紙の除去後に補強を施す工程が加わる修復作業グループ
- 4 番：脆弱化した箇所に補強を施す工程が加わる修復作業グループ
- 5 番：絵図等に見られた彩色・インク等の箇所の調査、滲み留めが加わる修復作業グループ

主な修復作業内容（1～5グループ）



修復処置の一覧を修理報告に添付

東京修復保存センター（以降 TRCC）では 2001 年度より、見積り当初に診断した劣化損傷にもとづき作業方針を決定する中で最終的に選択された 1 点 1 点の文書に施した修復処置一覧を修復作業報告に添えることで、所蔵者と修復内容を共有化することを始めました。また今後のために役立つ特異な劣化損傷に対して行なった処置についても作業記録に残し、報告書に記録として反映させました。

劣化損傷所見～見積もりから修復設計への連動

2002 年より見積り段階で文書の状態と修復内容を設計するシステムを明確にして、見積もりから納品までの一貫した作業管理を行なう試みを始めました。

1 点 1 点の文書には様々な劣化損傷の症状が見られます。見積り時の所見段階で認められた症状を下記のような記号で表記し、損傷が甚大で複合的なものは該当する損傷の記号を列挙し、その情報は調査診断時に生かされました。

c) のフケは、繊維が劣化して綿状になり紙が脆弱化している症状で、d) の崩れは、ネズミの尿などで茶褐色となり崩れる症状で、これらの劣化損傷もかなり多く見られるものでした。

a) 水濡れ b) 旧補修紙 c) フケ d) 崩れ e) 焼け焦げ f) カビ g) 彩色・インク

これまでの小川家文書を扱ってきた中で目立ってみられた虫損については別に損害の状態を C ～ B ～ A ～ A+ ～ A++ ～ S にランク分けした形で見積り時に表記しました。（C は軽度で S は甚大です）

C ～ B ～ A ～ A+ ～ A++ ～ S

3-4 仕上がり検討－質問確認事項と図書館担当者の現場視察

仕上がりの確認の意義

資料を引き取り検品後、記録作業を行ないます。その際、図書館の資料番号（例：A－〇－〇〇）に併記する形で TRCC 管理ナンバーとして年度の通し番号（例：小平 06－1）を付与しています。この管理用の通し番号を使用することにより、記録用紙や写真の保存、解体した資料に付与するノンブルを簡略化し、一覧表および 1 点 1 点のカルテを作成して大量の資料を安全に管理でき、点検や作業の漏れなどを防止することができます。記録と解体を進めていく過程で、文書の形状が特殊なものや劣化損傷のために破損したり欠落したりして形態に変化が生じている資料があることが判明してきます。このようなことは古文書の修復に際しては常にあることです。その際には状況から判断が確定できるものは元の状態に戻しますが、確定できない不明な点が発生した時には、「質問事項」としてまとめておき、所有者である図書館側に対して仕上げ等の確認を取っています。

解体、開き、クリーニングを終えた後、リーフキャストイングを始める前に確認作業が行なわれます。小川家文書は群としては一括ですが、修復対象の資料は冊子でも縦帳や横帳、一枚物や長い状物、絵図、近代の酸性紙など毎年毎回その形態や損傷の特色が異なるため、最終的な仕上げに関しては確認のプロセスが不可欠となります。また例年と同じ処置にする場合でも、やはり所有者と委託先の工房との確認作業は大切なことです。このようなプロセスを経ることにより、例えば元々の綴じが外れていた冊子の仕上げが、ある時は綴じ直す、またある時は綴じない、というように担当者が変わるたびに仕上がりが違うといったことを避けることができます。

実際に文書を前にしながら図書館と TRCC の修復担当者間で仕上がりについて確認する作業は、図書館担当者の現場視察の際に行なわれます。このことは修復事業が始まった当初から継続されており、協議した結果や例外的な処置も記録に残すことで、小川家文書の修復方針および仕上りの統一感につながっています。図書館側が確認のための打ち合わせ作業を含んで、修復現場の視察のために毎回欠かさず足を運ぶことは、所有者として委託先の工房にまかせっきりせずに、仕上りに責任を持つために必要な作業となります。結果として委託先の現場や修復技術や考え方の現状や、進行中の他の修復事例なども触れることができます。

比較的新しい修復技術であるリーフキャストイング法を導入した小川家文書の修復事業は、このように修復作業の中間地点で仕上がりを検討するプロセスを設けることによって、選定規準や処理規準を定めた時と同様に、図書館と修復業者が双方に協議し合いながら「こういう場合はこういう風にする」という仕上りの規準が、次第に積み重ねるように作りあげられていくことになりました。



過去の確認事例

今までに図書館側と交わした確認事項の質問内容を下記にいくつかご紹介します。通常、質問は通常箇条書きにしてまとめて協議の前に送り、必要に応じてコピーや写真、イラストも参照資料として添付します。

D-1-293 (TRCC 06-20) 状

状に包みが糊付けされ、割印も押されている。包みは天が大きく欠損して 22.6cm で元の大きさがわからない。

仕上案→ リーフキャストリングで余白を伸ばすか。状が 16.8cm 幅であることから包みは図のような寸法(約 27cm)であったと思われるが、推測なので現在の長さで裁断するか。状と包みは元通りに貼り合わせるか。

決 定→ リーフキャストリングで余白を伸ばし、状を包めるよう地の長さから想定した寸法で裁断した。(27cm) 状と包みは割り印の位置に元通り貼り合わせる。



C-8-003 (TRCC 06-15) 横帳

裏表紙1枚に厚み出し紙6枚が貼り合わさっていて最表の厚み出し紙に本文が書かれており、本文最終丁にあたる。小口から飛び出した見出しインデックスの仕上げ。

仕上案→ 現状通り文字の書かれた厚み出し紙を裏表紙に貼り戻すか、厚み出しにはせず最終丁として1枚に仕上げるか。インデックスは剥がして後から貼り戻すか、そのままリーフキャストリングするか。

決 定→ 現状通り本文が書かれている厚み出し紙は裏表紙に貼り戻す。
インデックスは剥がして本紙とは別にリーフキャストリングした後で元の位置に貼り戻す。



D-5-181 (TRCC 06-59) 横帳

破り取られたかして、非常に短い丁(5,6,7 丁め、3～3.5cm) と少し短い丁がある。(4 丁め、21 cm)

仕上案→ 短いままか、全体の長さにそろえるか。

決 定→ 5,6 丁めは短くリーフキャストイングの余白をちぎった痕跡の通りに仕上げる。
4,7 丁めはリーフキャストイングで余白を伸ばし全体の長さにそろえて仕上げる。



3-5 リーフキャストイング法による修復技術と TRCC

リーフキャストイング法について

リーフキャストイング法は、著しい虫食いや破損、欠損の見られる資料に対し、紙漉きの原理で欠損部に修復用繊維を充填して紙の強度をよみがえらせます。虫食いや欠損個所に、水中にほぐれた紙繊維を流し込み分散させ、下方に水を引くことによって、穴・欠損等の損傷個所に紙の繊維を「紙漉きの原理」で「漉き嵌め」で修復し、本紙を欠損のない一枚のシートに仕上げます。「本紙を漉き直す」と表現されることもあります。ヨーロッパでは、大量に、また安価に修復ができるということで、広く普及している修復技法です。

リーフキャストイング・マシンはさまざまな種類がありますが、マシンの機構や構成が変わっても、その原理は同じことです。本紙の欠損部にだけ、パルプが堆積して虫食いの穴を充填するという。つまり頁 (leaf) を鑄造 (casting) するという語源のとおりです。

リーフキャストイング・マシンの機構は、大きく分けると①水頭差による自然吸引方式と②サクシオンポンプによる強制吸引方式に分かれるようです。双方の方式とも水に溶かした修復用の紙繊維を欠損部分だけに流し込み、充填出来る構造になっています。

虫食いや破れ、フケなどの紙の脆弱化、欠損など、古い資料はめくるたびに傷みを増やしてしまう症状によって、利用が制限、または閲覧禁止、廃棄などの憂き目を見ることが多くあります。リーフキャストイング法は、そのような資料を一枚一枚安心してめくれ利用できるような、安価にできる大量修復技術なのです。

リーフキャストイング法にはさまざまな特徴がありますが、特筆すべき特徴は、修復によって紙の厚みがほとんど変わらないこと、両面に情報がある紙の裏面を損なうことなく修復が可能であること、紙の形成原理である水素結合を利用しているので可逆性があることなどが挙げられます。

TRCC のリーフキャストイング

TRCC では創業以来、デンマークで製作されたリーフキャストイング・マシンを使用しています。時と共に作業面積の大きなマシンに代替わりをし、現在は 4 代目になります。

このリーフキャストイング・マシンは水頭差による自然吸引方式です。改良を重ねた現在の装置 (第 4 機) は見開き大判新聞が 2 枚処理できる作業エリア (120 × 92cm) を有しています。

一口にリーフキャストイング法と言いますが、その仕上りの目指すところは千差万別と言ってよいほど、扱う工房、技術者によって異なります。現在のところ、リーフキャストイングの仕様というような一定の基準はありません。つまり仕上がりも材料も工程も機器もすべて工房毎に異なるということです。それは作業を請け負う工房、または操作する技術者、作業工程に用いる周辺の道具類、そしてなによりも、仕上がりから保存に至るまでの修復設計を作成する人間の理念が異なることがあるからです。「リーフキャストイング」と一言で言っても、十把一絡げとして理解することはできません。

「リーフキャストイング法」「マシン」という語感から、系統的に確立され一定品質を保つ技術に思えますが、リーフキャストイング・マシンは道具です。その道具を利用する作業は人間に寄り添います。とてもアナログ的で、仕上がりへの理念は観念的なものなので、その結果として仕上りの品質、保存性も一様のものであることはできないのです。

TRCC におけるリーフキャストイング法は、以下の項目を満たすように設立当初に作業方法が設計され、これは現在も受け継がれています。

- ・作業速度の飛躍的向上
- ・一回の作業で無数の修復個所を均一の厚みに修復する
- ・穴・欠損のない個所には紙の繊維が入らず、本紙の厚みをほとんど増やさない
- ・周辺部を足すことや別の技術と組み合わせることによって、さまざまな保存上の可能性を広げる
- ・リーフキャストイングの原料には国産 (高知産) の紙繊維 (楮を主体としたパルプ) を用いる

その設計によるリーフキャストリング法の仕上がりの利点は、修復によって本紙の厚みがほとんど変わらないこと、両面に情報がある紙の裏面を隠すことなく修復できること、修復後も本紙の簀の目や厚みの研究が可能であること、接着に糊を使用せず水素結合を利用しているため、可逆性があることです。これは、TRCC のリーフキャストリング法の特徴となっています。

リーフキャストリングに用いる修復用の紙繊維は、資料が和紙の場合はリーフキャストリングの技法に適した加工を行なった特注の国産の楮・三桮を用い、洋紙の場合には強度に優れ、リグニンを除いた樹脂障害の無い化学パルプ（主に針葉樹パルプ）を使用しています。

またリーフキャストリング作業を終えた資料の脱水作業に「熱」は用いていません。修復用の紙繊維を欠損部分に充填した後は、資料も充填した紙繊維も多く水分を含んでいます。作業の工程として、その水分を除く必要があります。吸水する素材とフェルトで資料を安全に挟み、電動プレス機を用いて圧力をかけることにより脱水を行ないます。その圧力は 1 平方センチメートルあたり 134 グラム程度の弱い圧力です。プレスをかけながら、紙繊維と本紙の接着面に強く「水素結合」（双極子間引力の一種）による接着が起こるように一晩かけて少しずつ脱水させていきます。その後、水分吸収ボードをはずし、作業の翌日から 5 日間ほどをかけて、ゆっくりと資料を中性紙ボードの間で脱水させます。このような工程を経て、強く接着した一枚のシートが仕上がります。

TRCC のリーフキャストリング・マシンの変遷

TRCC においても、リーフキャストリングを操作する技術者（当社ではオペレーターと呼んでいます）は、前代表である坂本勇から始まり、その後は現代表である坂本恵子、そして赤塚直子、宮原律子といった女性たちが操作していました。1993 年以降は宮城誠が長くオペレーターとなり、一時期、有限会社沖縄マイクロセンターから出向で赴任していた渡口啓太が加わりました。

宮城退職後は、秦博志、児島聡がオペレーターとなり、秦が退職後は、児島がオペレーターとなっています。材料は変わりませんが、そのオペレーターの代ごとに仕上がりが異なっており、小川家修復においても、その仕上がりは変遷していることになります。

機械も変遷してきています。TRCC のデンマーク式のリーフキャストリング・マシンも、当初は B4 から A3 サイズの資料が 1 枚修復できる程度の作業エリアの大きさでしたが、新聞が見開き 1 枚修復できるもの、そして現行機の新聞が見開き 2 枚修復できる大きさにリーフキャストリング・マシンのサイズも次第に大きくなり、それに伴い、オペレーターも男性が担うものになってきています。しかし本来は、リーフキャストリングのオペレーターは性別を問わない修復技術であるべきなので、その意味では少しマシンが大きくなりすぎた感もあります。

写真で見るリーフキャスティング・マシンの変遷

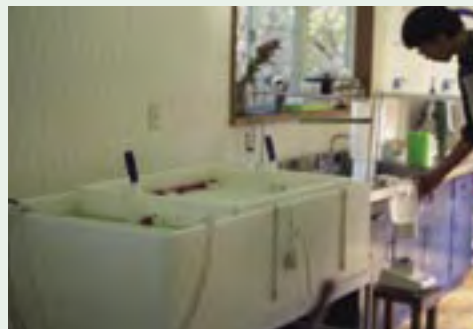
1988

五日市での開業時から使用。当時から工房には見学者が多く訪れ、実際に作業を体験してもらっていた。



1990

工房を青梅に移転後から使用を始める。現在も工房内に設置されている。



1991

新聞を見開きで修復できるマシンを導入。女性のオペレーターが取り扱うのに適したサイズであった。



1994

作業面が新聞を見開きで2枚修復できる大きさとなった。現在まで稼動し、大量修復の現場を支えている。



写真で見るリーフキャストイングのプロセス

資料・紙料のセット



キャストイング



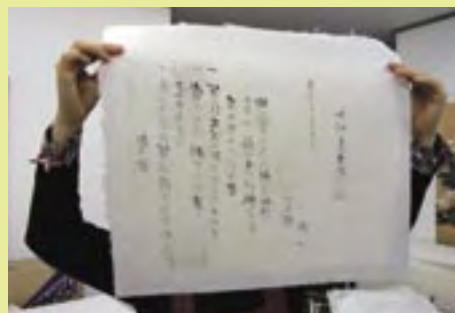
タッチアップ



プレス・養生



完成



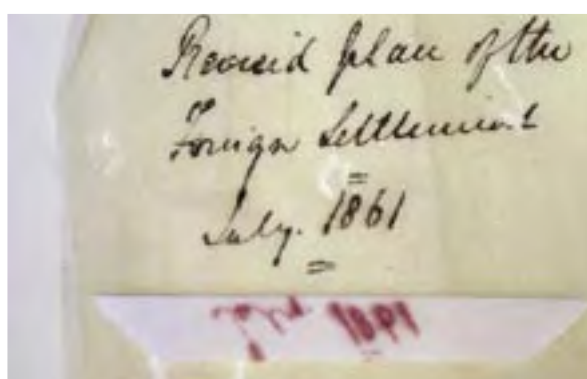
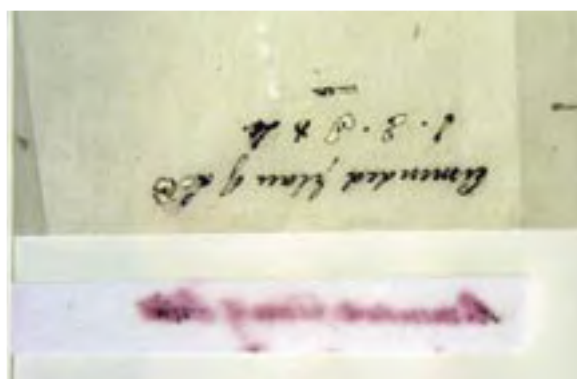
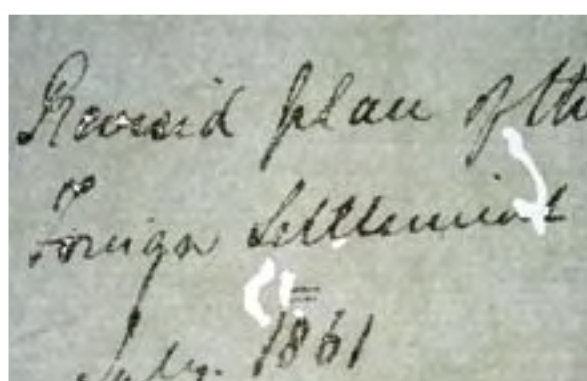
著しい虫食いや破損、欠損の見られる資料に対し、紙漉きの原理で欠損部に修復用繊維を充填して紙の強度をよみがえらせます。虫食いや欠損個所に、水中にほぐれた紙繊維を流し込み分散させ、下方に水を引くことによって、穴・欠損等の損傷個所に紙の繊維を「紙漉きの原理」で「漉き詰め」て修復し、本紙を欠損のない一枚のシートに仕上げます。

3-6 インク焼け資料に対する技術的な対応

インク焼けの症状が見られた資料

小川家文書は江戸時代に記された資料が多く、19世紀半ば以前の資料は基本的に和紙に墨文字で書かれた資料がほとんどです。しかし TRCC で修復を行なった資料のうち小平市図書館古文書分類綱目の中の〔D-1 触書・回状〕〔D-3 村役人・村政・選挙〕〔G-4 訴訟・裁判〕〔G-5 軍事〕〔K-4 水車〕〔K-6 分水管理〕〔P-2 商売〕〔R-4 郵便〕〔S 教育〕〔V 絵図〕には、明治時代に書かれた資料が収められていました。

その中で K-6-90 と V-8 の資料は、K-6-90 にはインクをこぼして汚し一部崩れてしまった損傷と、V-8 には書かれた文字が抜け始めてしまった損傷が見られました。これらの資料の記録をとる際に、鉄イオンを検出する試験紙を用いて調査を行なった結果、インク焼けの症状であることが確認されました。修復作業を終えた後も、このまま放置すれば、再びセルロースに損傷を与えることになりますので、反応を止める「フィチン酸カルシウム溶液」を用いたインク焼け抑制処理を行なうことにしました。



インク焼けの症状について

古いインク書きの文書やドローイングのインク描線に、インクの周りや裏面がうっすらと茶色くなり広がってぼやけて見える症状がしばしば見られます。これは紙の化学的劣化の一種で「インク焼け」として知られています。11世紀頃から現代にいたる多くのインクを使ったドローイング、作家原稿、図面、楽譜、書簡、帳簿など貴重な歴史資料に広く潜む深刻な病です。インク焼けはインク周辺が徐々に茶色く変色することから始まり、ひどくなるとその部分を腐食し亀裂が生じていたり、スッポリと抜け落ちてしまったりして、文字が読めなくなってしまうます。

インク焼けを生じさせるインク、没食子酸インクについて

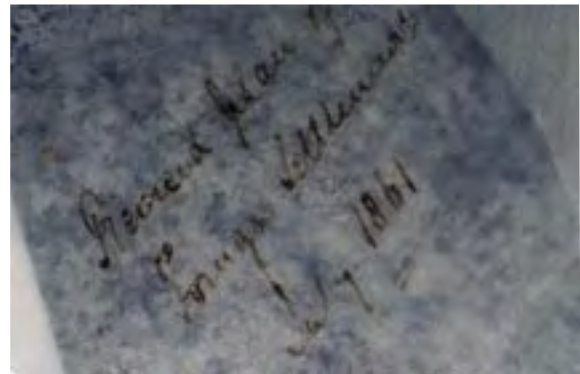
インク焼け（インク文字部分のみがぼやけ、やがて抜け落ちていく症状）の原因は、インクに生成される硫酸と硫酸鉄の鉄分であり、紙を弱くさせるものです。タンニンと鉄を反応させると黒い物質ができる原理を使っているのが没食子酸インク（iron-gall ink）で、古くから用いられているインクです。

このインクはタンニン、硫酸鉄、アラビアゴム、水の混合物で酸化の過程で黒色のインク化合物が生成します。その反応の副産物として硫酸ができます。硫酸は紙繊維の酸加水分解を速め、紙が弱くさせる要因となります。

もうひとつの要因がインクの成分の配合により反応しきれずに残ってしまった硫酸鉄の鉄分である鉄（Ⅱ）イオンです。

インク焼けを引き起こすのは、この鉄イオンが触媒となり、セルロースを酸化分解するからです。鉄イオンは触媒なのでいつまでも紙の中に存在し続けます。インクにも様々な種類があり、劣化の度合いはインク成分や濃さと紙質やサイジング、酸性度なども影響していると言われています。

K-6-90 と V-8 の資料には、この二つの劣化要因に対して有効な処置法である脱酸性化処理と硫酸鉄の鉄分の酸化触媒の働きを止めるキレート化するフィチン酸カルシウム溶液を用いての処置を行ないました。



3-7 小川家文書の劣化損傷

劣化損傷記録を元に

劣化損傷の概要紹介について

小平市図書館の古文書補修事業が行なわれた 18 年のうち、TRCC が古文書補修の業務委託を請け負っていた期間は 15 年になります。1400 点の修復対象資料の修復を行なっており、そのうちの 958 点が小川家文書の資料となります。

TRCC では操業以来、修復前・後の撮影を継続しています。現状の記録作業の一環として修復前撮影を、修復を終えた後に完成撮影を行ない、撮影には 35mm ポジフィルム（カラーリバーサルフィルム）を使用しています。1998 年からは専用の写真撮影台を導入し、同じ光源で撮影が可能になりましたが、それ以前は、自然光、ライトなどを用いての撮影を行っていました。そのような撮影環境であったこと、また修復スタッフが撮影しますので、優れて鮮明な画像とは決して言えません。

そのような記録写真ですが、劣化損傷記録とともに修復前の画像を見ますと、より修復前の状態（現状）を伺い知ることができるのです。

小川家文書の 958 点の劣化損傷所見を紹介するために、修復前のポジフィルムの画像を使用しながら、小川家文書の修復前の状態の概観をすることになります。

小川家文書の劣化損傷の特徴（全体的）

まずは全体的な特徴を説明することになります。

形態は縦帳、横帳、状物、一紙ものに大別できますが、綴じの形態、使用されている紙などはさまざまです。一部に虫損（虫食い）が甚だしい資料もありますが、虫損よりもフケや崩れの症状による損傷が多いです。

フケ（紙の繊維が弱り、また繊維同士の接着も弱くなって紙力が脆弱化している状態）が茶変色を伴っている症状が多く見られ、これは鼠などの小動物による尿が原因と思われる、茶変色の箇所を pH 測定しますと他の箇所よりもかなり低い値の pH 値となります。劣化した箇所は、崩れていたり、すでに失われていたりしており重大な損傷状態でした。また同じく鼠害となりますが、大小かじられた跡も多く見られます。

湿気が原因と思われる茶変色、水濡れによる茶しみ、資料の周囲や縞模様にいぶされたような濃い茶の汚損もあり、また当時の使用環境によるものと思われる、擦れて表紙が傷んでいるものも多く見られ、その後の保管時に破れたり、折れたりして、そこに汚れや虫損も重なり、触れるのも憚れるような損傷の資料も見られました。

一部、後世に鋭利な刃物で切り取られた痕跡も見られます。明治以降の資料には、酸性劣化の症状の資料、インク焼けの症状が見られる資料も少量ですが見られます。

本格的な修復を行なう前に、簡易に繕いを行なっている資料もあり、綴じ直しているもの、部分的に、または全体に裏打ちを行なっているものも見られます。

小川家文書の劣化損傷の特徴（分類網目別）

小川家文書は A～V の小平市図書館古文書分類網目により資料が整理されています。そして A から V に至るすべてのカテゴリーの修復を TRCC では行なっています。そこで分類網目のカテゴリー別に、その形態と劣化損傷の症状をまとめて、小川家文書の特徴を探る手がかりとなるものを作成しました。

実際にはカテゴリー別に資料が発見されたものではありませんので、形態と劣化損傷の症状、そして保管状態が結びつくものではありませんが、小川家文書の修復対象資料がどのような状態であったのか、概要を把握するための手段として分類網目を活用して、紹介することになります。

分類綱目と劣化損傷の状況

A: 土地 全 105 点

縦帳、状が多い。一紙ものもあり。縦帳に虫損（虫喰い）が多いのが特徴。

- A-1 検地帳（土地台帳）22 点 縦帳が多い。虫損が甚だしいものが多い。茶変色に特徴があり、茶変色に白い筋があったり、周囲に濃い茶変が見られたりする。和綴が多いが朝鮮綴も見られる。横帳はフケの症状は少ないが、折れ、しみが
多い。大福帳（列帳装）の形態も見られる。近年の綴じ直しあり。
- A-2 名寄帳 9 点 横帳、虫損が甚だしい。薄く汚れが見られる。近年の綴じ直しあり。
- A-3 免税地 3 点 一紙もの 3 点。大きく茶変色しているものがある。縦帳（冊子）は、
一箇所紙縫り綴じされている。
- A-5 開発 64 点 状・一紙ものが多い。虫損、欠損、茶変色が見られ、フケの症状
が甚しい。部分的に甚だしいフケが見られるものがある。紙質に厚手・薄手がある。
鼠害と思われる欠損がある。資料の周囲に濃い茶変色が見られるものがある。
縦帳（冊子）は、鼠害と思われる欠損があり、茶変色も見られる。近年の綴じ直
しあり。横帳は虫損が見られる。
- A-6 地租改正 6 点 縦帳のみ。虫損、茶しみがみられ、フケや崩れが甚しい資料が
ある。鼠害と思われる欠損がある。
- A-9 その他 1 点 横帳（横半綴）は崩れて劣化症状が甚だしい。



B: 戸口 全 60 点

縦帳と状が大半。横帳もあり。茶の変色としみが目立ち、フケの症状が多く見られ、状態も傷んでいるものが多い。

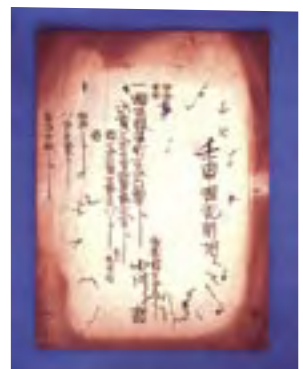
- B-1 人別・五人組帳 5 点 縦帳が多い。茶しみ、虫損が多く、A-6 に状態が似ている。
近年の綴じ直しあり。横帳は欠損の大きなものがある。
- B-2 入村者・離村者 19 点 状が多く薄い紙にフケの症状が甚しく欠損も多く見られる。
鼠害と思われる欠損もある。部分的な過去補修が見られる。本紙全体が茶変色
だったり、茶変色の周囲にフケが見られたりする。厚手の紙が多いが薄いものも
ある。包みも見られる。横帳は茶しみ、縦帳は鼠害と思われる欠損があり、フケ
ている。
- B-3 奉公人 33 点 状・一紙もので、大きな欠損がみられ鼠害と思われるものもある。
フケ、茶しみがみられる。紙質は厚手・薄手の紙混在し、部分的な過去補修が
見られる。
- B-9 その他 3 点 状は B-3 と似た様子。縦帳はしみがみられる。



C: 租税 全 240 点

状や一紙もの、横帳が多く、修復点数も多く、劣化の症状も様々である。縦帳も見られる。

- C-1 年貢割付状 40 点 状が多く、鼠害、虫損、茶しみがみられ、紙質は厚手・薄手
の紙混在し（厚手が多い）、部分的な過去補修が見られる。状の継ぎに厚い本紙
と薄い本紙がつながっている形態が見られる。一部フケの症状が見られる。縦
帳は虫損が見られ周囲に茶変色が甚しいものもある。綴じ直しのものがある。
- C-2 年貢小割帳 49 点 横帳が多く、茶しみ、すれ、折れ、フケと崩れ、汚れが甚だしく、
表紙に特に傷みが見られる。鼠害と思われる欠損があり、茶変色に崩れ、虫損、
周囲の茶変色も見られる。横帳〔大福帳（列帳装）〕もあり。
- C-4 年貢勘定目録・皆済目録 40 点 一紙もので小サイズの本紙が多く状は長い状も
あり、地の部分のみ長く茶変色している。フケとおり、虫損も見られる。紙質は
薄手である。縦帳は表紙に傷みが見られる。
- C-5 年貢減免・延納願 3 点 状が 3 点。茶変色し、大きく欠損している周囲に傷みが
見られる。全面に裏打ちの補修がされているものがある。
- C-7 諸掛 97 点 横帳が多く、表紙に傷み、汚れ、茶しみ、茶の縞汚れやシワの跡のよう
な部分的な茶変色などがあり、部分的なフケと崩れ、大きな欠損、崩れを引き起
こしている。穴の深い鼠害と思われる欠損も見られる。綴じ直しがされたものもある。



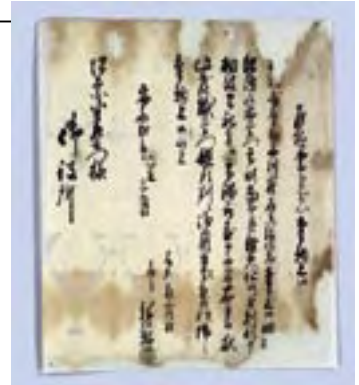
- C-8 地租 2 点 横帳〔大福帳（列帳装）〕は、酸性劣化を伴う大きな崩れで、劣化の症状が甚だしいものであり、茶変色を伴うフケのものもある。
- C-9 その他 9 点 縦帳は茶しみの汚れ、状は茶変色が甚だしいもので、全面に裏打ちの補修がされているものがあり、横帳はフケを伴う崩れや部分的にフケの症状が見られる。



D: 村政 全 153 点

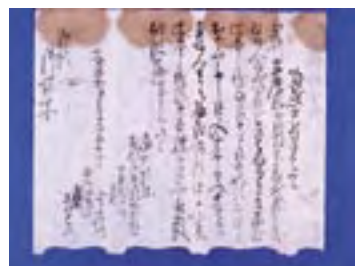
状、縦帳、横帳がそれぞれ多く、特に D-5 の横帳の状態が悪い。

- D-1 触書・回状 12 点 状が多く、茶しみ、フケ、茶しみを伴う紙の脆弱化が見られ、包み、短い書状も見られる。近現代の資料も入っている。部分的な過去補修が見られる。縦帳は虫損、茶しみが見られる。罫線入りの近現代の資料もある。綴じ直しがされているものもある。横帳は茶変色が見られる。
- D-2 制約・規定 4 点 D-1 と同様の症状である。
- D-3 村役人・村政・選挙 10 点 状はフケが目立ち、全面に裏打ちの補修がされているものがある。横帳は茶しみが有り、薄手の本紙が使われている。縦帳は茶変色とフケを伴う崩れ、鼠害と思われる欠損も見られる。また部分的な過去補修が見られる。罫線入りの近現代の資料もあり。
- D-4 村明細帳・地誌 4 点 縦帳が茶しみの症状がともに、崩れも見られる。綴じ直しがされているものもある。
- D-5 村入用帳・村会々費 97 点 状態悪い横帳が多く、茶しみ、フケを伴う崩れがあり、崩れは甚しいものもある。虫損、欠損、表紙の傷み甚大で、全体の崩れ、サビも見られる。綴じ直しがされているものもある。黒い汚れ、茶の汚れ、濃茶の汚れ甚しいものがある。
- D-6 村用留 21 点 横帳・縦帳が多く、横帳は全体に傷み、欠損、折れたような茶の汚れ、表紙の傷みが見られ、大福帳（列帳装）は表紙欠損、崩れ、虫損が見られ、綴じ直しがされているものもある。縦帳は茶しみ、崩れ（全体や酸性劣化を伴うものもある）、欠損、虫損が見られ、綴じ直しがされているものもある。罫線入りの近現代の資料もある。縦帳または冊子は一箇所紙縫綴じがされているものがある。
- D-7 村方出入 1 点 状 1 点で、全体にフケがあり、全面に裏打ちの補修がされている。
- D-9 その他 4 点 雑多なものがある。縦帳は虫損や、本紙の脆弱化が見られ、色表紙（藍）のものもある。綴じ直しがされているものもある。除虫御守護もあり。状は薄手の本紙で全体にフケしており、欠損が甚だしいものがある。



E: 村の生活 全 12 点

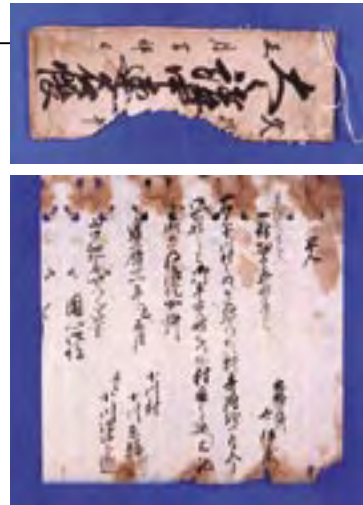
- E-1 出火詫状・火事 1 点 状 1 点で、茶しみ、欠損あり。
- E-2 不行跡詫状 6 点 状で欠損、崩れ、虫損が見られ、異なる損傷のものが継がれているものもある。
- E-3 家督相続 2 点 状 2 点で、茶しみ、崩れあり。
- E-4 結婚・離婚 2 点 状 2 点で茶しみ、欠損、崩れがあり、全面に裏打ちの補修がされている。
- E-5 欠落・家出 1 点 状 1 点で状態が悪く、フケの症状とともに本紙が欠損、特に茶しみの周囲がフケている。



F: 宗教 全 17 点

縦帳、横帳、状が見られる。

- F-1 宗門人別帳 4 点 縦帳は茶しみ、横帳は茶しみ、虫損が見られ、綴じ直しがされている。
- F-2 宗旨手形 1 点 状でフケており部分的な過去補修が見られる。
- F-3 寺院 6 点 状は茶しみ、広い範囲で虫損しているものもあり、紙の脆弱化も見られる。全面に裏打ちの補修がされているものもある。横帳は茶の汚れ、欠損が見られ、横帳〔大福帳（列帳装）〕もあり。
- F-4 神社 4 点 横帳〔大福帳（列帳装）〕は、胴体部分がの鼠害と思われる欠損も見られる。綴じ直しがされている。一紙ものは罫線があり近現代の資料である。フケによる脆弱化、虫損が見られる。
- F-9 その他 2 点 横帳はフケ、茶しみが見られる。状は天に特徴的な欠損が見られ、茶変色の周囲がフケてちぎれている。一部補修がされている。

**G: 治安・軍事・消防 全 32 点**

状の形態が多い。

- G-1 治安一般 8 点 状は虫損、天地の欠損が見られ、全面に裏打ちの補修がされているものもある。紙質が薄手の本紙が見られる。一紙ものは虫損、茶しみ、縦帳は茶しみがみられ綴じ直しがされている。
- G-2 犯罪・事件 9 点 状はフケ、茶しみを伴う欠損が見られ、全面に裏打ちの補修がされている。縦帳（冊子）は、一箇所紙縫り綴じで、罫線があり近現代の資料で、茶の汚れと欠損が見られる。
- G-3 けんか 3 点 状で大きな欠損、虫損が甚だしく、茶しみも見られる。
- G-4 訴訟・裁判 6 点 状は全面に裏打ちの補修がされており欠損が見られる。縦帳または冊子は罫線があり近現代の資料で、茶の汚れを伴うフケの症状が見られる。
- G-5 軍事 5 点 横帳は本紙の脆弱化に伴う傷みがあり、綴じ直しがされている。縦帳または冊子は罫線があり近現代の資料で、虫損、濃茶の汚れが見られ、部分的な過去補修がされている。
- G-9 その他 1 点 状でフケ、茶しみ、欠損が見られる。

**H: 農業 全 12 点**

横帳と状が多く、縦帳も見られる。

- H-1 農業政策・農業事情 3 点 横帳で茶しみ、脆弱化に伴う崩れが見られる。
- H-2 農作物 6 点 状は虫損、茶しみがみられ、全面に裏打ちの補修がされているものもある。縦帳または冊子は一箇所紙縫り綴じで、封筒が傷んでいる。
- H-4 養蚕 1 点 縦帳で茶しみがみられる。
- H-6 製茶 1 点 縦帳で背がくるみの製本がされている。
- H-9 その他 1 点 状で紙質は薄手であり、虫損、フケの症状が見られる。

**I: 凶災・救済 全 25 点**

縦帳、状、横帳が多く、一紙ものも見られる。

- I-1 凶災 5 点 状は虫損、擦れて黒く汚れがあり、全面に裏打ちの補修がされている。縦帳は綴じ直しがされ、フケなどの本紙の脆弱化を伴う傷み、虫損、茶しみがみられ、全面に裏打ちの補修がされている。
- I-2 救済 7 点 状でフケや虫損を伴う大きな欠損や天地欠損、鼠害と思われる欠損も見られる。全面に裏打ちの補修がされているものもある。
- I-3 養料金・貯穀 13 点 縦帳はカビ、茶しみ、横帳はフケ、茶しみ、虫損があり、濃茶の汚れも見られ、部分的な過去補修や、綴じ直しがされているものも見られる。状は虫損や大きな欠損が見られ、全面に裏打ちの補修がされているものもある。



J: 土木・建築 全 3 点

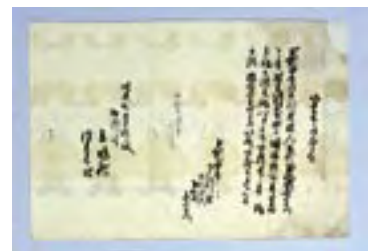
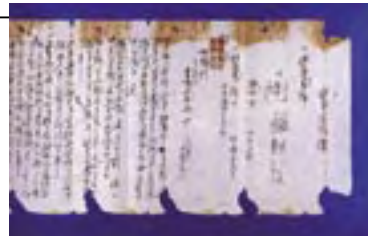
- J-1 土木 2 点 一紙ものは茶しみ、横帳は胴体に欠損、崩れの症状が見られる。
J-2 建築 1 点 横帳で虫損、欠損、茶しみが見られ、綴じ直しがされている。



K: 水利 全 36 点

状が多く、縦帳、横帳、一紙ものも見られる。近現代の資料も見られる。

- K-1 用水支配・管理 2 点 状は茶変色を伴う崩れ、欠損、縦帳は本紙の脆弱化、茶しみが見られる。
K-2 用水普請・修繕 8 点 縦帳は大きく欠損しているものが見られる。虫損が甚だしいもの、濃い茶の汚れのもの、本紙の脆弱化を伴う傷みのものが見られる。綴じ直しがされているものがある。横帳は本紙の脆弱化を伴う傷み、欠損、状は虫損、欠損、茶しみが見られる。一紙ものは酸性劣化による本紙の崩れが見られる。
K-4 水車 8 点 一紙ものは虫損、欠損、状は大きく欠損、茶しみ、鼠害と思われる欠損(不思議な形)、鋭利な刃物で切られた跡が見られる。また横帳は水濡れ跡、虫損、縦帳は茶変色の周囲のフケや茶しみが見られ、罫線のある近現代の資料もある。
K-5 分水口塞・川浚 5 点 状はフケており、大きく欠損している。全面に裏打ちの補修がされている。横帳は鼠害と思われる欠損、茶しみ、欠損、フケが見られ、一紙ものは近現代の資料で、薄手の紙、もろもろしたフケが見られる。
K-6 分水管理 4 点 一紙ものは水濡れによる茶しみ、汚れ、虫損が見られる。縦帳(冊子)は一箇所紙縫い綴じであり、インク焼けの症状も見られる。
K-7 分水普請・修理 8 点 状は虫損甚だしく、紙質は厚手の和紙、継ぎ外れが見られる。縦帳は全体に茶変色の汚れ、横帳は茶しみ、虫損が見られる。
K-9 その他 1 点 一紙もので絵図。虫損が多く見られる。



L: 林業 全 70 点

状や縦帳が多い。横帳もあり。

- L-1 林野(植林・草刈) 2 点 状はフケ、欠損が見られ、全面に裏打ちの補修がされている。横帳は虫損、薄い汚れが見られる。
L-2 材木売買 63 点 状、縦帳が多い。縦帳は特に状態悪い。状は、虫損、茶変色の周囲のフケ、崩れ、天の欠損、茶しみが見られ、部分的や全面に補修がされているものがある。薄手の漉きムラの多い紙も見られる。縦帳は、茶しみを伴う欠損、崩れ、茶しみ、水濡れのような黒い汚れ、カビのような汚れ、フケの症状が甚だしいもの、水濡れ茶しみの脆弱化による文字の薄れなどが見られる。全体に茶変色(特徴的)。背表紙がくるみの形態(割り印あり)のものや、本紙の袋の中で全面補修や綴じ直しがされているものもある。一紙ものは茶しみ、虫損、横帳は周囲の傷み、虫損 茶しみが見られる。
L-3 薪炭 4 点 状は虫損、茶しみ、水濡れ痕が見られ、全面に裏打ちの補修がされている。縦帳または冊子は糊跡の茶変色、縦帳は茶しみが見られ、綴じ直しがされているものもある。
L-9 その他 1 点 縦帳でフケ、ももけ、茶しみが見られる。



M: 鷹場 全 50 点

状が多く茶変色を伴うフケの症状による欠損などが見られる。横帳、縦帳もあり。

- M-1 支配 22 点 状は茶しみ、茶しみの周囲のフケ、虫損、欠損、茶しみを伴う崩れが見られる。縦帳はフケ、ももけ、茶しみ、虫損、糊跡の茶しみ、フケを伴う崩れ、L-2 に似た崩れ、損傷 裏表紙の欠損などが見られ、背表紙がくるみの形態のものも見られる。横帳は短い横帳で周囲の折れと傷みが甚だしい状態である。
- M-2 鷹場御用 13 点 状で茶しみ、フケ、虫損、フケを伴う崩れ、欠損などの症状が多く見られる。全面に裏打ちの補修がされているものもある。
- M-3 案山子・猪鹿追散シ願 6 点 縦帳は折れの跡の茶の汚れ、状は茶しみ、虫損、水濡れ痕、地の欠損、大きな欠損が見られ、全面に裏打ちの補修がされているものもある。
- M-4 家作普請願 1 点 状でフケの症状が見られる。
- M-6 治安 7 点 状は茶しみ、フケ、欠損、虫損、薄手の紙の茶変色を伴う傷みが見られる。縦帳はフケの症状が見られ、綴じ直しがされている。
- M-9 その他 1 点 状で茶しみ、虫損が見られる。

**N: 鉱業 全 3 点**

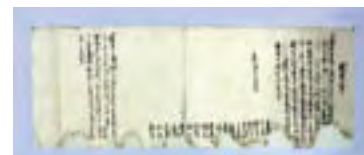
- N-1 石灰 3 点 状で虫損が甚だしく、カビ、黒い汚れ 茶しみ、欠損の見られるものもある。全面に裏打ちの補修がされているものもある。

**O: 工業 全 5 点**

- O-2 醸造 4 点 状は地の茶しみを伴うフケ、欠損が見られ、部分的な過去補修がされている。縦帳はフケの症状が甚だしく、本紙の袋綴じの中で全面に補修がされている。フケを伴う擦れの傷みも見られる。
- O-3 職人 1 点 縦帳で虫損、茶しみが見られる。

**P: 商業 全 16 点**

- P-1 市場 9 点 状は虫損、鼠害と思われる欠損、大きな欠損、水玉のような茶しみ、茶しみとフケが見られ、全面に裏打ちの補修がされているものもある。紙質が薄手の紙のものがある。横帳は鼠害と思われる欠損、本紙の脆弱化、茶の汚れが見られる。
- P-2 商売 4 点 状は地の茶しみを伴う欠損、横帳は折れの跡がついた濃い茶の汚れ、欠損、縦帳は水濡れによる傷みの症状が見られる。
- P-9 その他 3 点 横帳で虫損、茶の汚れが見られ、綴じ直しがされている。

**Q: 金融・貸借・保険 全 34 点**

状が多く、縦帳、横帳もあり、フケの症状などを伴い大きく欠損し、全面に裏打ちの補修がされているものもある。

- Q-1 金融 4 点 縦帳は本紙の脆弱化に伴う崩れ、劣化、鼠害と思われる欠損、フケ、胴体部が大きく欠損しているものが見られる。状は水濡れによる茶変色、虫損が見られ、全面に裏打ちの補修がされている。横帳〔大福帳(列帳装)〕は水濡れの茶しみを伴う崩れが見られる。
- Q-2 貸借証文 12 点 結構フケている状はフケの症状が甚だしいものがあり、虫損、茶変色などの症状も見られる。全面に裏打ちの補修がされているものもある。
- Q-3 貸借出入 17 点 状は劣化の状態の甚だしいものが多く、虫損、フケ、欠損、鼠害と思われる欠損、茶変色を伴うフケなどが見られ、部分的や全面に補修がされているものがある。
- Q-9 その他 1 点 横帳、幅広の紙縫りが用いられている。虫損、茶しみあり。



R: 交通・運輸 全 85 点

横帳が多く小川家文書の典型的な劣化症状が見られる。状、一紙もの、縦帳も見られる。

R-1 伝馬・助郷 64 点 横帳が多く、紙力の脆弱化に伴う傷み、茶しみ、茶変色に水濡れ跡、胴体に大きくフケて崩れているもの、茶変色し酸性劣化の症状が見られるもの、表紙の大きな欠損などの症状が見られる。綴じ直しがされているものもある。横帳〔大福帳(列帳装)〕もあり。縦帳は虫損、茶しみ、フケと崩れ、虫損が甚しいものが見られ、綴じ直しがされているものもある。一紙ものは茶しみやフケの症状が見られる。状はフケと茶しみを伴っており、虫損も見られる。部分的や全面に補修がされているものもある。

R-2 旅宿・旅行 3 点 横帳は茶しみ、虫損、一紙もの(折帳)は茶しみなどが見られる。

R-3 通船 3 点 縦帳または冊子は、一箇所紙縫り綴じがされ、茶しみが見られる。部分的に補修がされている。一紙ものは茶しみが見られ、紙質は薄手のもの、状は簾の目がはっきり見える半紙のような紙が使用されている。

R-4 郵便 12 点 かなり傷んでいる(明治以降、新しい時代の資料)。縦帳または冊子が多く、近現代の資料で劣化の症状が進んでいる。罫線入り本紙で、酸性劣化の洋紙、ぱりぱりしているものや、崩れ、欠損が見られる。表の印刷物もあり。

R-9 その他 3 点 状で茶しみ、虫損が見られる。部分的に補修がされている。

**S: 教育 全 1 点**

縦帳で周囲に茶変色。綴じ直しがされている。明治 13 年のもの。

**T: 学術・家事 全 8 点**

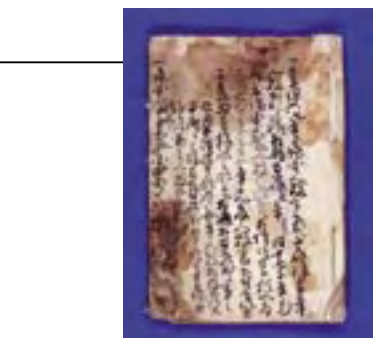
T-1 系図・家伝 4 点 状で茶変色している。

T-2 武術 3 点 状で部分的にフケ、欠損している。紙質は薄手の漉きムラの多いもの。

T-3 医学・衛生 1 点 短い横帳。茶変色、傷み、汚れが甚だしい。

**V: 絵図 全 6 点**

一紙もので訂正紙の貼り付けや、虫損、インク焼け、茶しみ、欠損が見られる。

**Z 雑 全 1 点**

縦帳でフケ、崩れ、汚れが甚だしく傷んでいる。

網目分類表

小平市図書館古文書分類網目		点数	形態				劣化損傷の特徴							
A 土地	A-1 検地帳（土地台帳）	22点	◎縦帳	横帳			虫損	茶変色	折れ	しみ				
	A-2 名寄帳	9点	横帳				虫損	汚れ						
	A-3 免税地	3点	一紙もの	◎縦帳			茶変色							
	A-5 開発	64点	◎状	◎一紙もの	◎縦帳		虫損	欠損	茶変色	フケ	鼠害			
	A-6 地租改正	6点	◎縦帳				虫損	茶しみ	フケ	崩れ	鼠害			
	A-9 その他	1点	横帳				崩れ							
B 戸口	B-1 人別・五人組帳	5点	◎縦帳	状	横帳		虫損	茶しみ	欠損					
	B-2 入村者・離村者	19点	◎状	横帳			フケ	欠損	鼠害	茶変色	茶しみ			
	B-3 奉公人	33点	状	一紙もの			欠損	鼠害	フケ	茶しみ				
	B-9 その他	3点	状	◎縦帳			欠損	鼠害	フケ	茶しみ				
	C-1 年貢割付状	40点	◎状	◎縦帳			鼠害	虫損	茶しみ	フケ				
C 租税	C-2 年貢小割帳	49点	◎横帳				茶しみ	すれ	折れ	フケ	崩れ	汚れ	鼠害	欠損 茶変色
	C-4 年貢勘定目録・皆済目録	40点	◎一紙もの	◎縦帳			茶変色	フケ	虫損					
	C-5 年貢減免・延納願	3点	状				茶変色	欠損						
	C-7 諸掛	97点	横帳				汚れ	茶しみ	茶変色	フケ	崩れ	欠損	鼠害	
	C-8 地租	2点	横帳				フケ	崩れ	茶変色					
	C-9 その他	9点	◎縦帳	横帳			茶しみ	茶変色	フケ	崩れ				
	D-1 触書・回状	12点	◎状	◎縦帳	横帳	近現代の資料	茶しみ	フケ	脆弱化	虫損	茶変色			
	D-2 制約・規定	4点	状	◎縦帳	横帳		茶しみ	フケ	脆弱化	虫損	茶変色			
	D-3 村役人・村政・選挙	10点	状	横帳	◎縦帳	近現代の資料	フケ	茶しみ	崩れ	鼠害				
D 村政	D-4 村明細帳・地誌	4点	◎縦帳				茶しみ	フケ	崩れ					
	D-5 村入用帳・村会々費	97点	横帳				茶しみ	フケ	崩れ	虫損	欠損	サビ	汚れ	
	D-6 村用留	21点	◎横帳	◎◎縦帳			欠損	崩れ	虫損					
	D-7 村方出入	1点	状				フケ							
	D-9 その他	4点	◎縦帳	状			脆弱化	フケ	欠損					
	E-1 出火訃状・火事	1点	状				茶しみ	欠損						
	E-2 不行跡訃状	6点	状				欠損	崩れ	虫損					
	E-3 家督相続	2点	状				茶しみ	崩れ						
	E-4 結婚・離婚	2点	状				茶しみ	欠損	崩れ					
E 村の生活	E-5 欠落・家出	1点	状				欠損	茶しみ						
F 宗教	F-1 宗門人別帳	4点	◎縦帳	横帳			茶しみ	虫損						
	F-2 宗旨手形	1点	状				フケ							
	F-3 寺院	6点	状	横帳			茶しみ	虫損	脆弱化	茶の汚れ	欠損			
	F-4 神社	4点	横帳				鼠害	フケ	虫損					
	F-9 その他	2点	横帳				フケ	茶しみ	茶変色					
G 治安・軍事・消防	G-1 治安一般	8点	状	一紙もの	◎縦帳		虫損	欠損	茶しみ					
	G-2 犯罪・事件	9点	状	◎縦帳			フケ	茶しみ	茶の汚れ	欠損				
	G-3 けんか	3点	状				欠損	虫損	茶しみ					
	G-4 訴訟・裁判	6点	状	◎縦帳		近現代の資料	欠損	茶の汚れ	フケ					
	G-5 軍事	5点	横帳	◎縦帳		近現代の資料	脆弱化	虫損	濃茶の汚れ					
	G-9 その他	1点	状				フケ	茶しみ	欠損					
H 農業	H-1 農業政策・農業事情	3点	横帳				茶しみ	脆弱化	崩れ					
	H-2 農作物	6点	状	◎縦帳			虫損	茶しみ						
	H-4 養蚕	1点	◎縦帳				茶しみ							
	H-6 製茶	1点	◎縦帳				茶変色							
	H-9 その他	1点	状				虫損	フケ						
	I-1 凶災	5点	状	◎縦帳			虫損	汚れ	フケ	脆弱化	茶しみ			
I 凶災・救済	I-2 救済	7点	状				フケ	虫損	欠損	鼠害				
	I-3 養料金・貯穀	13点	◎縦帳	状			カビ	茶しみ	フケ	虫損	欠損			
	J-1 土木	2点	一紙もの	横帳			茶しみ	欠損	崩れ					
J 土木・建築	J-2 建築	1点	横帳				虫損	欠損	茶しみ					
	K-1 用水支配・管理	2点	状	◎縦帳			茶変色	崩れ	欠損	脆弱化	茶しみ			
K 水利	K-2 用水普請・修繕	8点	◎縦帳	横帳	一紙もの		欠損	虫損	茶の汚れ	脆弱化	茶しみ	崩れ		
	K-4 水車	8点	一紙もの	状	横帳	◎縦帳	虫損	欠損	茶しみ	鼠害	水濡れ	フケ		
	K-5 分水口塞・川渡	5点	状	横帳	一紙もの		フケ	欠損	鼠害	茶しみ				
	K-6 分水管理	4点	一紙もの	◎縦帳		近現代の資料	茶しみ	汚れ	虫損	インク焼け				
	K-7 分水普請・修理	8点	状	◎縦帳	横帳		虫損	茶変色	茶しみ					
	K-9 その他	1点	一紙もの				虫損							
	L-1 林野（植林・草刈）	2点	状	横帳			フケ	欠損	虫損	汚れ				
L 林業	L-2 材木売買	63点	◎状	◎◎縦帳	一紙もの		虫損	フケ	崩れ	欠損	茶しみ	汚れ	脆弱化	
	L-3 薪炭	4点	状	◎縦帳			虫損	茶しみ	水濡れ					
	L-9 その他	1点	◎縦帳				フケ	ももけ	茶しみ					
	M-1 支配	22点	状	◎縦帳	横帳		茶しみ	フケ	虫損	欠損	崩れ	ももけ	折れ	
M 鷹場	M-2 鷹場御用	13点	状				茶しみ	フケ	虫損	崩れ	欠損			
	M-3 案山子・猪鹿追散シ願	6点	◎縦帳				茶の汚れ	茶しみ	虫損	欠損				
	M-4 家作普請願	1点	状				フケ							
	M-6 治安	7点	状	◎縦帳			茶しみ	フケ	欠損	虫損	茶変色			
M-9 その他		1点	状				茶しみ	虫損						
	N-1 石灰	3点	状				虫損	カビ	汚れ	茶しみ	欠損			
O 工業	O-2 醸造	4点	状	◎縦帳			茶しみ	フケ	欠損					
	O-3 職人	1点	◎縦帳				虫損	茶しみ						
	P-1 市場	9点	状	横帳			虫損	鼠害	欠損	茶しみ	フケ	脆弱化	茶の汚れ	
P 商業	P-2 商売	4点	状	横帳	◎縦帳	近現代の資料	茶しみ	茶の汚れ	欠損	水濡れ				
	P-9 その他	3点	横帳				虫損	茶の汚れ						
	Q-1 金融	4点	◎縦帳	状	横帳		脆弱化	崩れ	劣化	鼠害	フケ	欠損	茶変色	虫損 茶しみ
Q 金融・貸借・保険	Q-2 貸借証文	12点	状				フケ	虫損	茶変色					
	Q-3 貸借出入	17点	状				虫損	フケ	欠損	鼠害	茶変色			
	Q-9 その他	1点	横帳				虫損	茶しみ						
	R-1 伝馬・助郷	64点	◎横帳	◎◎縦帳	一紙もの	状	脆弱化	茶しみ	茶変色	水濡れ	フケ	酸性劣化	欠損	虫損 崩れ
R 交通・運輸	R-2 旅宿・旅行	3点	横帳	一紙もの			茶しみ	虫損						
	R-3 通船	3点	◎縦帳	一紙もの	状		茶しみ	虫損						
	R-4 郵便	12点	◎縦帳	一紙もの		近現代の資料	酸性劣化	崩れ	欠損					
	R-9 その他	3点	状				茶しみ	虫損						
	S 教育	1点	◎縦帳			近現代の資料	茶変色							
T 学術・家事	T-1 系図・家伝	4点	状				茶変色							
	T-2 武術	3点	状				フケ	欠損						
	T-3 医学・衛生	1点	横帳				茶変色	汚れ						
V 絵図		6点	一紙もの			近現代の資料	虫損	インク焼け	茶しみ	欠損				
Z 雑		1点	◎縦帳				フケ	崩れ	汚れ					

◎は割合の多いもの